

# イチオシ!

## M OVIE

### 『ラオス 竜の奇跡』

2015年に日本と外交関係樹立60周年を迎えたラオス。故郷の田舎を飛び出し首都ビエンチャンで暮らす女性ノイは、ナムグム湖観光に来た際、内戦中だった1960年にタイムスリップしてしまう。そこで出会ったのは、ナムグムダム建設調査のためラオスを訪れ、水難事故にあった日本人青年の川井。「ボーベンニャン(問題ない)」と二人を迎えてくれた村での暮らしが始まるが、やがて戦火が迫り――。史上初の日本・ラオス合作作品の公開を記念して、ラオスの観光や文化などを紹介する『ラオス博2017』の開催も予定されている。



© ジャパン・ラオス・クリエイティブ・パートナーズ

2016年／ラオス・日本／112分  
監督：熊沢誓人  
出演：井上雄太、ティダー・シティサイ他  
公開：6月より有楽町スバル座(東京都千代田区)他全国ロードショー  
URL：[www.saynamlai.movie/](http://www.saynamlai.movie/)  
配給：アークエンタテインメント

### 『ラオス博2017』

会期：6月17・18日 11～19時(18日は18時まで)  
会場：東京・丸の内KITTE地下1階(東京シティアイ パフォーマンスゾーン)

## E VENT

### 『世界報道写真展2017』

今年で60回目を迎える同写真展では、125の国・地域から応募された8万点以上から選ばれた受賞作品を紹介する。「人々の部」で単写真1位を受賞したのは、イスラム国の恐怖によってやむなく故郷を去り、難民キャンプで過ごす子どもの姿をとらえたマグナス・ウエンマンの作品。紛争や環境問題など、普段目にできない世界の“今”を知ることができる。

<東京会場>  
会期：6月10日(土)～8月6日(日)(月曜休館)  
会場：東京都写真美術館(東京都目黒区)  
URL：<http://www.asahi.com/event/wpph/>  
TEL：03-3280-0099  
※その他、全国各地で開催

## B OOK

### 『ナビラとマララ』

#### 『対テロ戦争』に巻き込まれた二人の少女』

パキスタンの少女、ナビラ・レフマンさんを知っているだろうか。2012年、アメリカ軍によるミサイルで祖母を失い、自身も大ケガを負った。彼女が暮らす連邦直轄部族区域は中央政府の支配が及ばず、テロリストに間違われたという。一方、マララ・ユスフザイさんはイスラム過激派に銃撃され、後にノーベル平和賞を受賞。加害者が違えば、境遇も違う。「戦争ではなく教育を」と願う彼女たちの思いを紹介し、アメリカとイスラムの関係の変遷などを解説する。



宮田律 著  
講談社  
1,296円(税込)

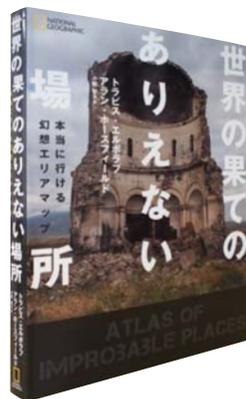
この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

## B OOK

### 『世界の果てのありえない場所』

#### 『本当に行ける幻想エリアマップ』

打ち捨てられたシルクロード沿いの古都アニ、旧ソ連の閉鎖都市ジェレズノゴルスク、溶岩に埋もれた町サン・ファン・パラナガリクティロ。「世界にはこんなところがあったのか!」と思わせる世界51カ所の“忘れられた不思議な場所”を、印象的な写真と詳細な地図で分かりやすく解説する。歴史をひもとき、その場所が語り掛ける物語に耳を澄ませてみてはいかが。



この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

トラビス・エルボラフ、アラン・ホースフィールド 著  
日経ナショナル ジオグラフィック社  
小野智子 訳  
2,808円(税込)